

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション

「新型コロナウイルスに関する国際世論調査 (6月・第3回調査)」

19か国・地域 グローバル調査

調査結果

株式会社 日本リサーチセンター

◆「新型コロナウイルスに関する国際世論調査」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都墨田区、代表取締役社長 鈴木稲博）が加盟しているギャラップ・インターナショナル・アソシエーションでは、新型コロナウイルスに関する国際世論調査を実施しました。

この度、6月（第3回）調査についての日本版レポートを発表いたします。ご高覧いただければ幸いです。

注1：比率（％）は、各国・地域の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

尚、第1回目（3月）、第2回目（4月）、第3回目（6月）の参加国・地域と実施時期は以下の通りです。

調査	対象国数	対象国・地域	調査実施時期 （各国）	調査実施時期 （日本）	日本の主要な出来事・状況
1回目	30か国・ 地域	日本、インド、インドネシア、タイ、パキスタン、フィリピン、マレーシア、韓国、アメリカ、アルゼンチン、エクアドル、アフガニスタン、イラク、パレスチナ、アゼルバイジャン、アルメニア、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、スイス、セルビア、ドイツ、トルコ、フランス、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ロシア	2020/3/9～22	2020/3/13～16	調査実施時期：国内の1日の新規感染者数が50人未満で推移 3/24: 東京五輪・パラリンピック延期決定
2回目	18か国・ 地域	日本、インド、インドネシア、タイ、パキスタン、フィリピン、マレーシア、韓国、アメリカ、アルゼンチン、イラク、イタリア、オーストリア、カザフスタン、スイス、ドイツ、ブルガリア、ロシア	2020/4/3～12	2020/4/6～8	4/7: 7都府県に緊急事態宣言 4/16: 緊急事態宣言全国に拡大
3回目	19か国・ 地域	日本、インド、パキスタン、フィリピン、香港、マレーシア、韓国、アメリカ、イギリス、イタリア、オーストリア、カザフスタン、北マケドニア、ジョージア、スイス、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モルドバ、ロシア	2020/6/2～23	2020/6/9～13	5/25: 全国で緊急事態宣言解除 6/11: 東京アラート解除

※本文中では、「国・地域」を「国」と略して表記しています

◆ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、現在はオーストリアに本部があります。

現在世界のおよそ50カ国でメンバーを持ち、世界の多くの国で世論調査や市場調査を実施しています。

※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆株式会社日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。

民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。

ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションには日本で唯一の代表として1968年に加盟しました。

1) 「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う」という意見について、「そう思う（計）」人の割合は、19か国・地域の平均では61%、日本では34%で19か国中19位。日本の評価は向上したものの、他国に比べると低水準。

- 「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べると上位3か国は、ジョージア、マレーシア、韓国。一方、下位3か国は、日本、ボスニア・ヘルツェゴビナ、イギリス。日本は19か国・地域中19位。
- 4月の調査結果と比較すると、日本は「そう思う（計）」の割合は4月19%→6月34%と、15ポイント増加。
一方、「そう思わない（計）」は4月69%→4月52%と17ポイント減少。
- 日本では、4月7日の緊急事態宣言発表後、5月25日に全国で緊急事態宣言解除、6月調査実施中の6月11日に東京アラートが解除され、国内の流行がいったん落ち着いた印象を受けて、6月調査での評価の向上につながったと考えられるが、他国と比較するとまだ低い水準にとどまる。

2) 「コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減った」という意見について、「そう思う（計）」人の割合は、19か国・地域の平均では63%、日本では39%。日本は19か国中17位だが、約4割が収入への影響を感じている。

- コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減ったどうかを質問した結果は、19か国・地域平均では、「そう思う（計）」と回答した人の割合が63%、日本では39%。
- 「そう思う（計）」と回答した人の割合は、日本は19か国・地域中17位ではあるが、日本でも約4割もの人がコロナウイルスの感染拡大による世帯収入への影響を感じている。

3) 「自国の生活全般が、今年中に通常に近い状態まで戻ると思うか」について日本では、今年中には戻らないと考える人の割合が71%と多く、19か国・地域中1位。19か国・地域の平均は、戻るか戻らないか、意見が分かれる。

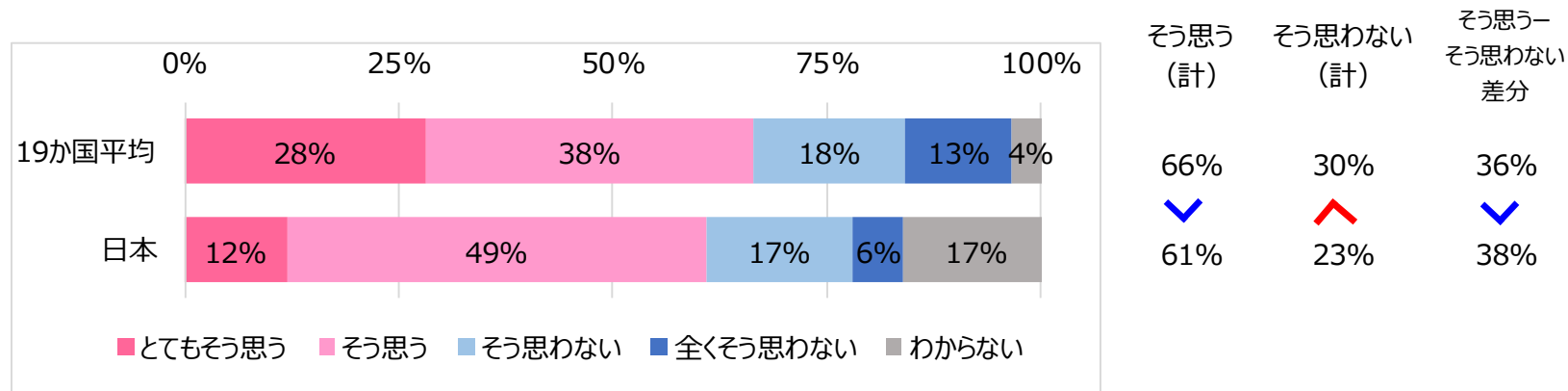
- 日本では、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が71%、「今年中に、通常に近い状態まで戻る」が11%。「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」と考える人の割合が60ポイント多い。
- 19か国・地域の平均では、「今年中に、通常に近い状態まで戻る」が42%、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が47%と、その割合の差は5ポイントで、意見が分かれている。
- 「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」と回答した人の割合は、日本は19か国・地域中1位。

「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う」という意見について、

「**そう思う（計）**」人の割合は、6月調査では19か国の平均が66%、日本は61%。

- 「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれない」と思うかどうかを質問した結果は、日本では「**そう思う（計）**」の割合が6割強。
- 19か国の平均では、「**そう思う（計）**」の割合が66%と、日本より5ポイント高い。

Q 自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う（単数回答）



- 「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べると、6月調査の上位3か国は、韓国、フィリピン、香港の順。感染の第2波に直面していた韓国が19か国中トップ。一方、下位3か国は、オーストリア、カザフスタン、スイスとなっている。
- 日本は19か国中13位。

Q 自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う（単数回答）

そう思う（計）

1	韓国	86%
2	フィリピン	84%
3	香港	80%
4	インド	79%
4	イタリア	79%
6	北マケドニア	77%
7	ロシア	73%
8	アメリカ	71%
9	イギリス	70%
10	マレーシア	69%
19か国平均		66%
11	パキスタン	64%
12	ボスニア・ヘルツェゴビナ	63%
13	日本	61%
14	ジョージア	60%
15	モルドバ	58%
16	ブルガリア	51%
17	スイス	50%
18	カザフスタン	46%
19	オーストリア	42%

そう思わない（計）

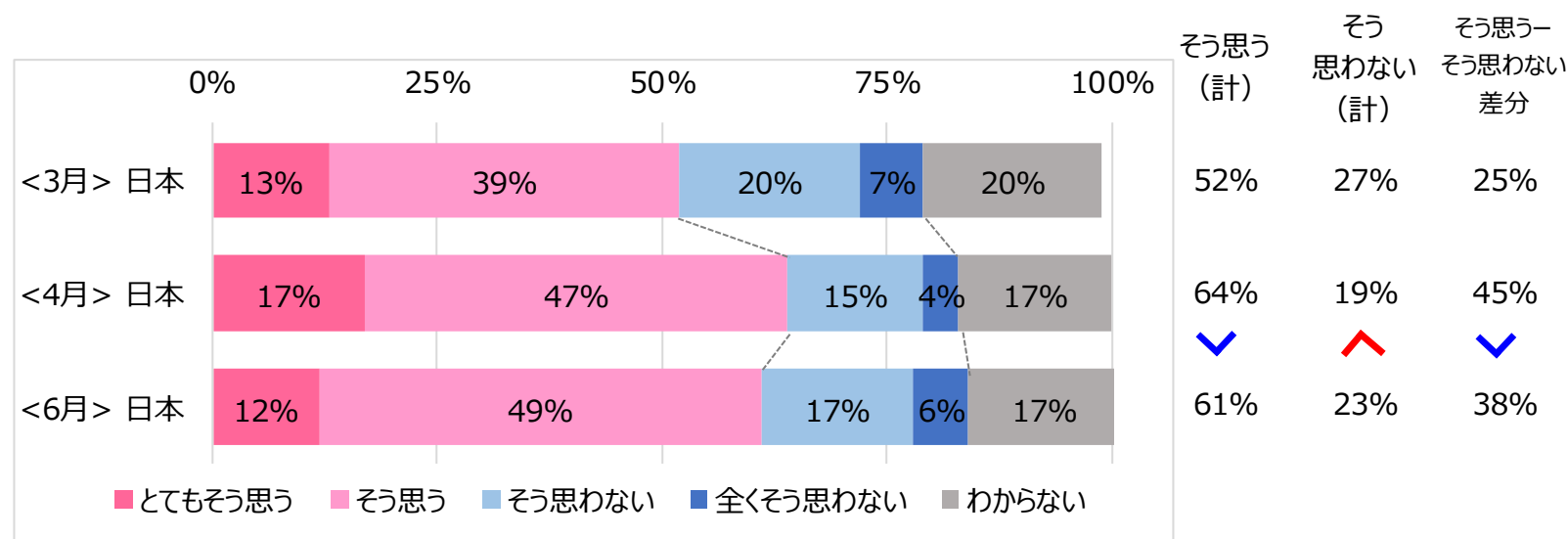
1	オーストリア	55%
2	カザフスタン	50%
3	ブルガリア	48%
4	スイス	46%
5	ジョージア	40%
6	モルドバ	37%
7	パキスタン	35%
8	ボスニア・ヘルツェゴビナ	34%
9	マレーシア	30%
19か国平均		30%
10	アメリカ	26%
11	イギリス	23%
11	日本	23%
11	北マケドニア	23%
14	ロシア	21%
15	インド	19%
15	イタリア	19%
17	香港	18%
18	韓国	14%
19	フィリピン	13%

「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う」という意見について、

日本の6月の調査結果を4月と比較すると、感染の可能性を身近に感じる人の割合は微減にとどまる。

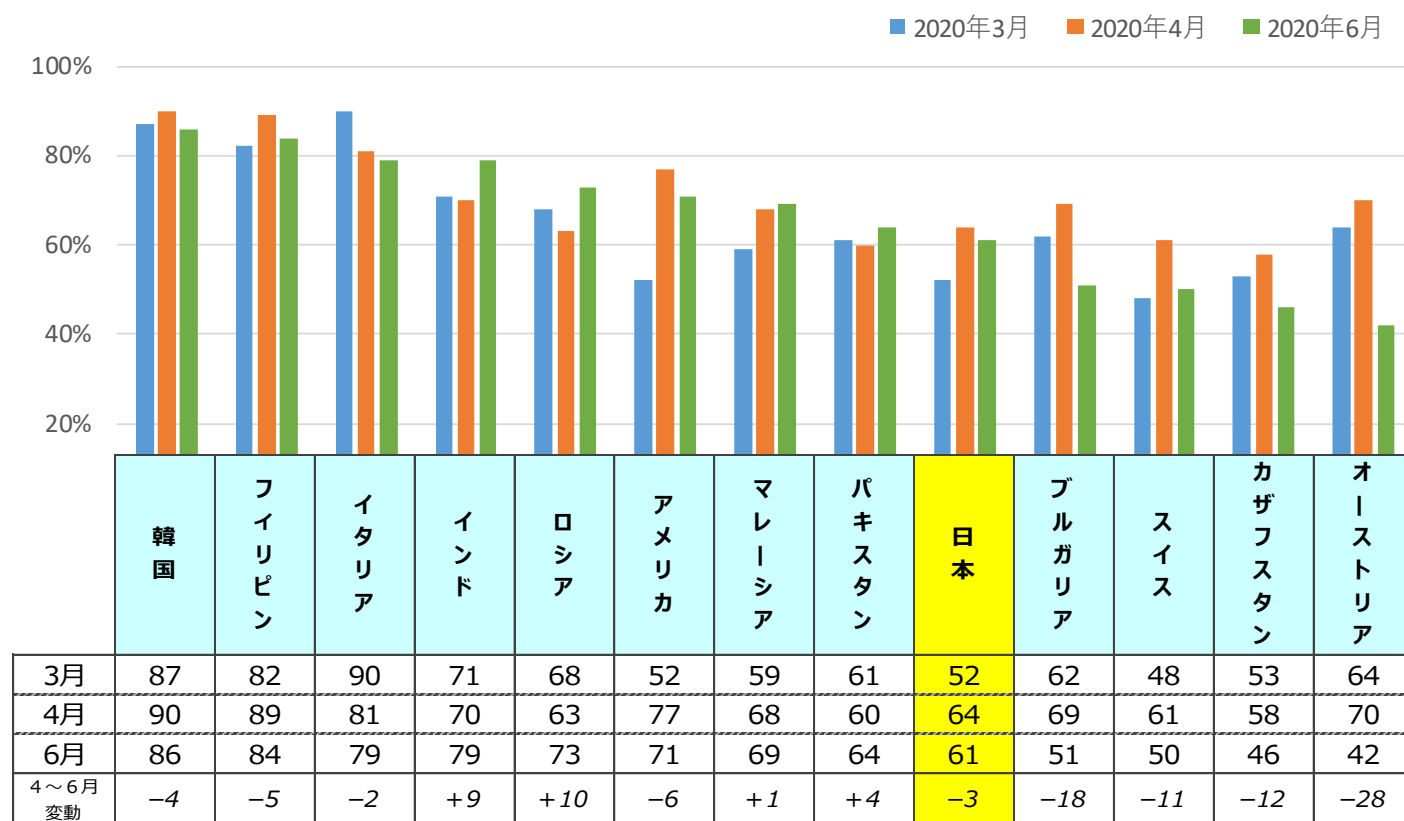
- 「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれない」という意見について、「そう思う（計）」の割合は6月の調査結果では61%で、4月の調査結果（64%）と比べて3ポイント低下。また、3月の調査結果（52%）と比較すると、9ポイント高い。
- 調査実施（6月9日～13日）当時は、調査実施中の6月11日に東京アラートが解除され、全国的に収束感が出始めたものの、感染の可能性に対する危機意識は、4月と大きく変わらない割合で保たれている。

Q 自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う（単数回答）



- 「自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれない」という意見について、3月調査（第1回）から6月調査（第3回）まで毎回参加した13カ国の結果を、6月調査結果の「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べた。
- 4月調査結果と比較すると、13か国中9か国で「そう思う（計）」の割合が減少し、特にオーストリアでは、-28ポイントと大幅減。
- 4月よりも「そう思う（計）」の割合が増加したのは、ロシア（+10ポイント）、インド（+9ポイント）、パキスタン（+4ポイント）、マレーシア（+1ポイント）。
- 3月、4月、6月の調査全てにおいて、上位3位を、韓国、フィリピン、イタリアが占める。

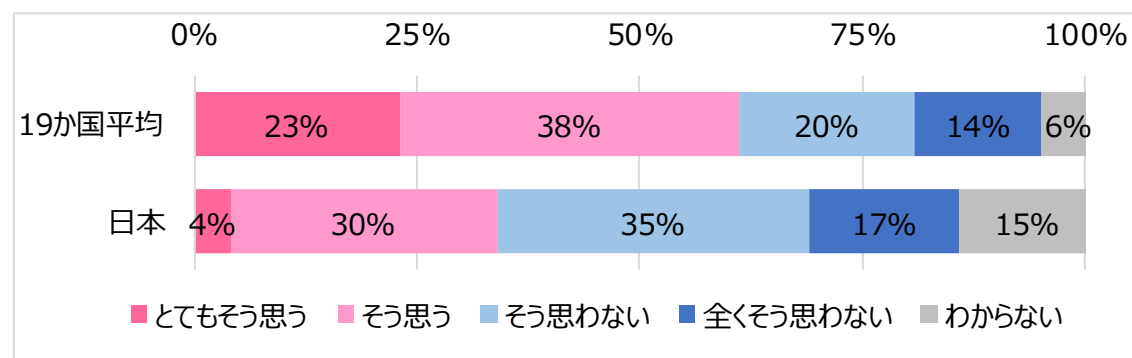
Q 自分自身または家族のだれかが実際にコロナウイルスに感染するかもしれないと思う（単数回答）



「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う」という意見について、「そう思う（計）」人の割合は、6月調査では19か国の平均が61%、日本が34%。

- 自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思うかどうかを質問した結果は、日本では、「そう思う（計）」の割合が34%、「そう思わない（計）」が52%で、「そう思わない（計）」が「そう思う（計）」を18ポイント上回る。
- 一方、19か国の平均では、日本と反対に「そう思う（計）」の割合が61%と多数を占める。

Q 自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う（単数回答）



そう思う (計)	そう思わない (計)	そう思う－ そう思わない 差分
61%	34%	27%
▼	▲	▼
34%	52%	-18%

- 「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べてみると、6月調査の上位3か国は、ジョージア、マレーシア、韓国。一方、下位3か国は、日本、ボスニア・ヘルツェゴビナ、イギリスとなっている。
- 日本は19か国中19位で、最も低い。

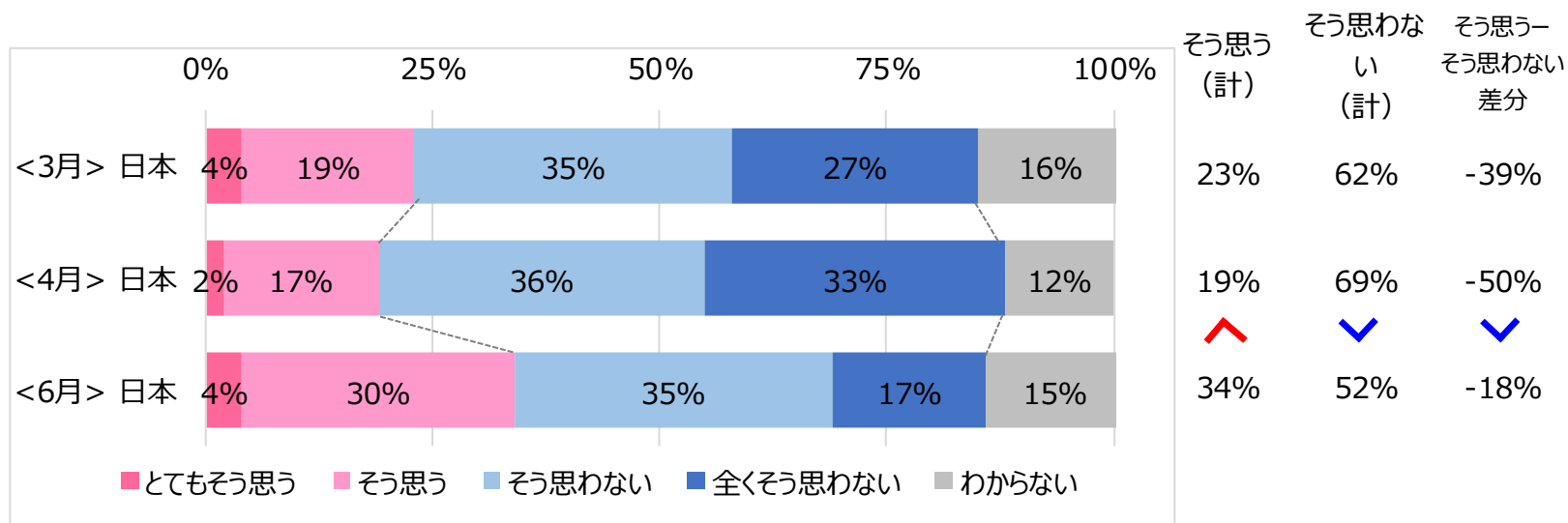
Q 自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う（単数回答）

そう思う（計）			そう思わない（計）		
1	ジョージア	94%	1	ボスニア・ヘルツェゴビナ	60%
1	マレーシア	94%	2	イギリス	56%
3	韓国	85%	3	アメリカ	55%
4	ブルガリア	77%	4	日本	52%
5	インド	76%	5	香港	49%
5	スイス	76%	6	モルドバ	48%
7	オーストリア	75%	7	北マケドニア	47%
7	カザフスタン	75%	8	ロシア	45%
9	パキスタン	67%	9	イタリア	39%
19か国平均		61%	10	フィリピン	36%
10	フィリピン	59%	19か国平均		34%
11	イタリア	55%	11	パキスタン	27%
12	北マケドニア	48%	12	オーストリア	23%
13	香港	47%	13	インド	22%
14	ロシア	45%	14	ブルガリア	21%
15	モルドバ	42%	15	スイス	20%
16	アメリカ	40%	16	カザフスタン	19%
17	イギリス	38%	17	韓国	15%
18	ボスニア・ヘルツェゴビナ	35%	18	ジョージア	6%
19	日本	34%	18	マレーシア	6%

「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う」という意見について、日本の6月の調査結果を4月と比較すると、6月は「そう思う（計）」（34%）という回答が、4月（19%）よりも15ポイント増加。

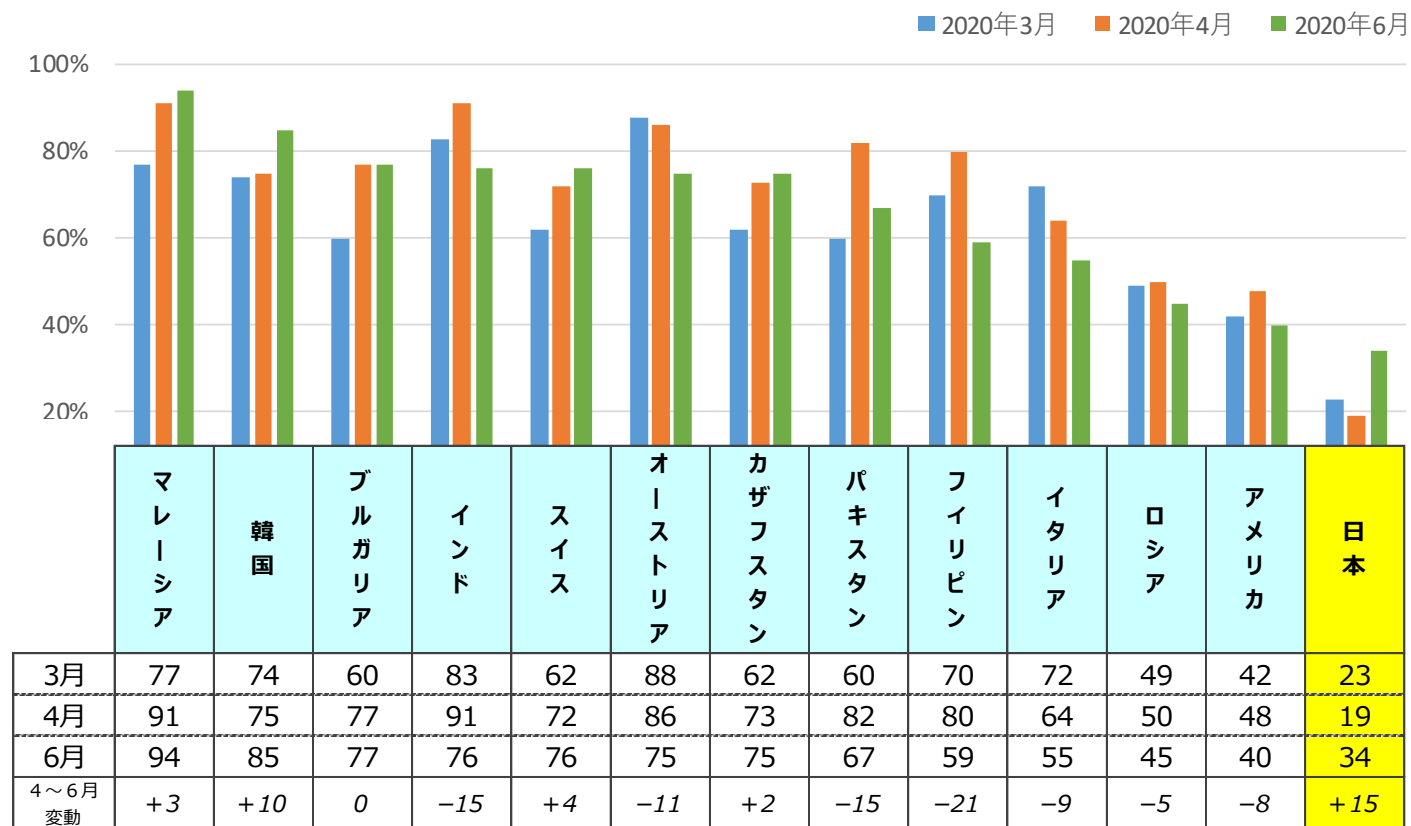
- 4月の調査結果と比較すると、日本は「そう思う（計）」の割合が4月（19%）から6月（34%）で15ポイント増加し、評価が向上した。一方で、「そう思わない（計）」の割合は、4月（69%）から6月（52%）で17ポイント減少したものの、6月調査時点でも過半数を占める。
- 日本では、4月7日の緊急事態宣言発表後、5月25日に全国で緊急事態宣言解除、6月調査実施中の6月11日に東京アラートが解除され、国内の流行がいったん落ち着いた印象を受けて、6月調査での評価の向上につながったと考えられるが、まだ低い水準にとどまる。

Q 自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う（単数回答）



- 「自国の政府はコロナウイルスにうまく対処している」という意見について、という意見について、3月調査（第1回）から6月調査（第3回）まで毎回参加した13カ国の結果を、6月調査結果の「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べた。
- 4月の調査結果と比較すると、13か国中7か国で「そう思う（計）」の割合が減少し、特にフィリピンでは、-21ポイントと、4月調査よりも大きく低下。
- 一方、「そう思う（計）」の割合が増加したのは13か国中5カ国。特に日本と韓国では、「そう思う（計）」の割合が10ポイント以上増加し、政府のコロナウイルス対処への評価が4月調査結果よりも向上した。ブルガリアは4月と同率。

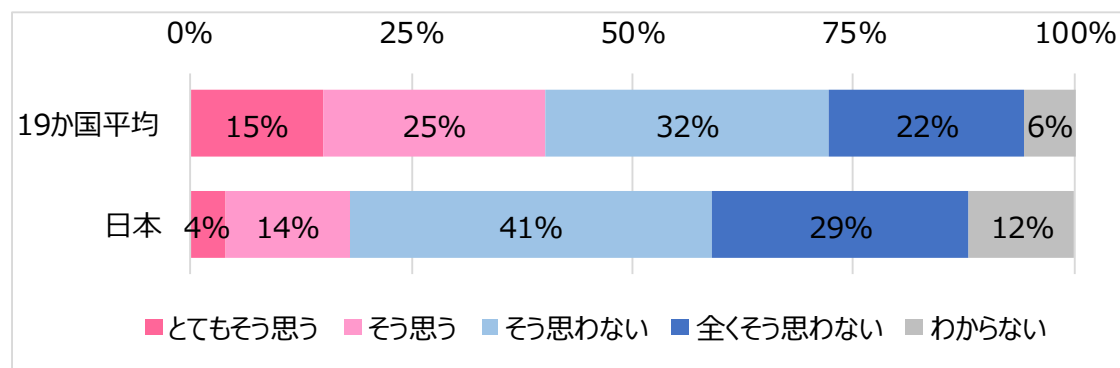
Q 自国の政府はコロナウイルスにうまく対処していると思う（単数回答）



「コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う」という意見について、6月調査では「そう思う（計）」の割合は19か国の平均が40%、日本が18%。

- コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思うかどうかを質問した結果は、日本では、「そう思う（計）」の割合が18%、「そう思わない（計）」が70%と、大げさではないと捉えている人の割合が多い。
- 19か国の平均では、「そう思う（計）」の割合が40%、「そう思わない（計）」の割合が54%と、日本同様大げさではないと捉えている人の割合の方が多いが、「そう思う（計）」の割合（40%）は、日本（18%）と比べると22ポイント高く、大きな差がある。

Q コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う（単数回答）



そう思う (計)	そう思わない (計)	そう思う－ そう思わない 差分
40%	54%	-14%
▼ 18%	▲ 70%	▲ -52%

- 「コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べてみると、6月調査の上位3国は、ボスニア・ヘルツェゴビナ、カザフスタン、ブルガリア。一方、下位3か国は、イギリス、韓国、日本。
- 日本は19か国中17位。

Q コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う（単数回答）

そう思う（計）

1	ボスニア・ヘルツェゴビナ	66%
2	カザフスタン	61%
3	ブルガリア	59%
4	モルドバ	58%
5	パキスタン	56%
6	マレーシア	53%
7	フィリピン	48%
8	ロシア	45%
9	北マケドニア	44%
10	ジョージア	42%
19か国平均		40%
11	オーストリア	37%
12	インド	35%
13	アメリカ	34%
14	スイス	32%
15	イタリア	25%
16	香港	21%
17	日本	18%
18	韓国	15%
18	イギリス	15%

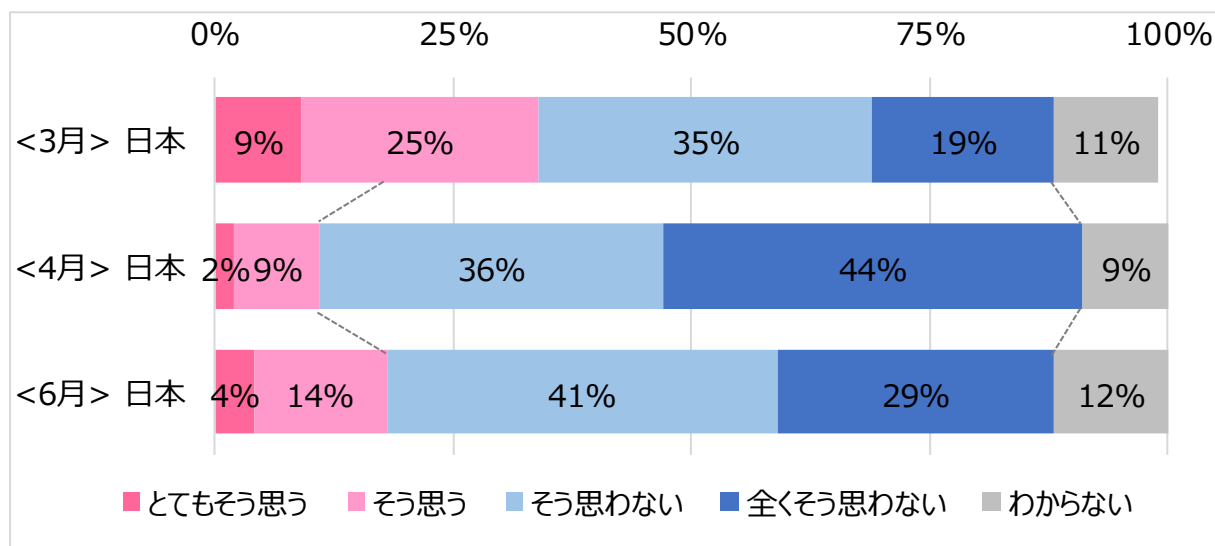
そう思わない（計）

1	韓国	84%
2	イギリス	78%
3	香港	77%
4	イタリア	71%
5	日本	70%
6	スイス	63%
7	オーストリア	59%
7	アメリカ	59%
9	インド	58%
10	ジョージア	55%
19か国平均		54%
11	北マケドニア	50%
12	フィリピン	47%
13	マレーシア	46%
14	ロシア	45%
15	パキスタン	40%
16	ブルガリア	39%
17	ボスニア・ヘルツェゴビナ	30%
17	モルドバ	30%
19	カザフスタン	28%

「コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う」という意見について、日本の6月の調査結果を4月と比較すると、コロナウイルスの脅威は大げさに言われていると思う人が増加。

- コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思うかどうかを質問した結果は、4月の調査結果と比較して、「そう思う（計）」の割合が4月（11%）から6月（18%）で7ポイント増加。一方で、「そう思わない（計）」の割合は4月（80%）から6月（70%）で10ポイント減少。

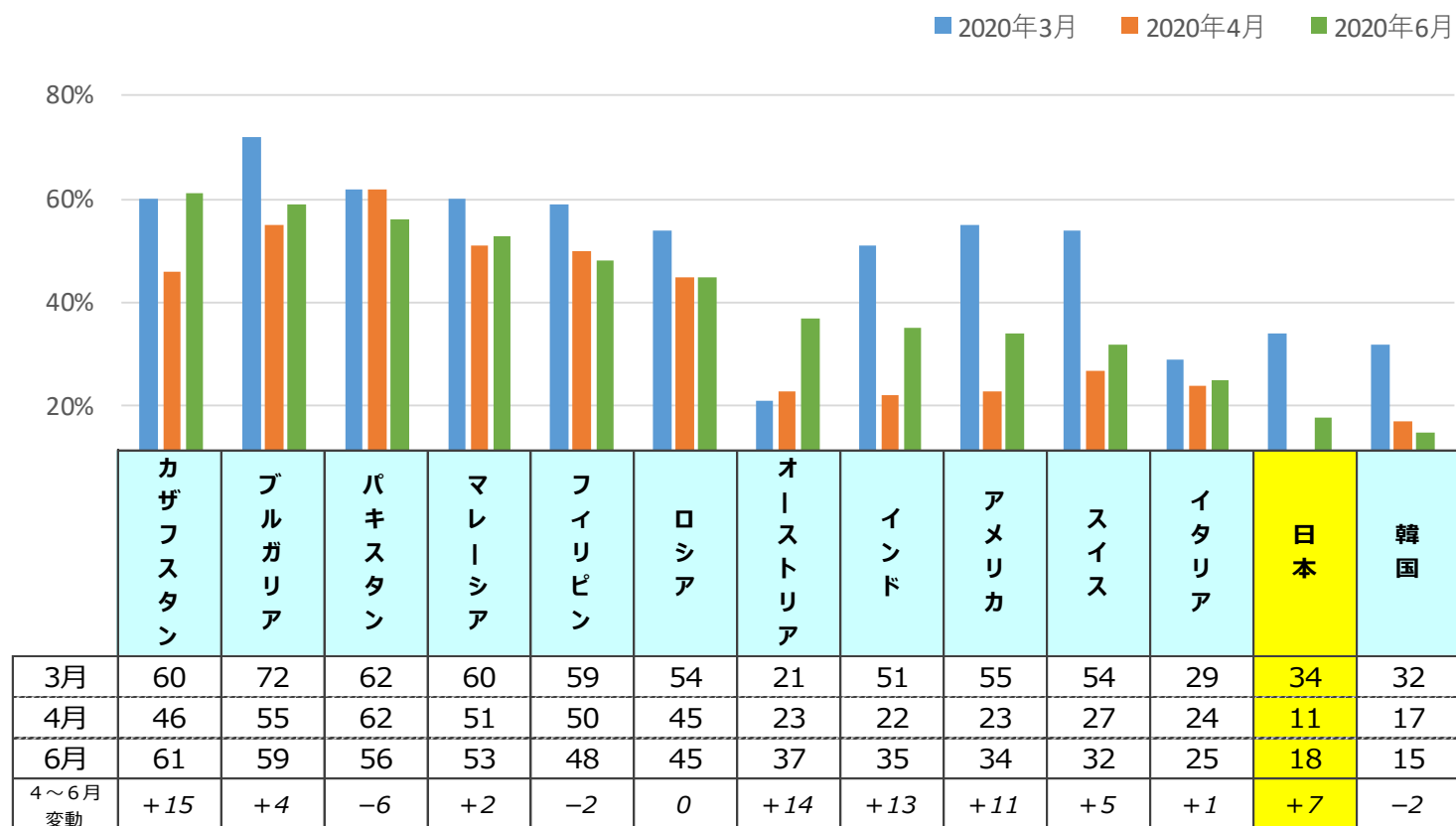
Q コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う（単数回答）



そう思う (計)	そう 思わない (計)	そう思うー そう思わない 差分
34%	54%	-20%
11%	80%	-69%
▲	▼	▼
18%	70%	-52%

- 「コロナウイルスによる脅威は大げさに言われている」という意見について、3月調査（第1回）から6月調査（第3回）まで毎回参加した13カ国の結果を、6月調査結果の「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べた。
- 4月調査結果と比較すると、13か国中9か国で「そう思う（計）」の割合が増加し、特に、カザフスタン、オーストリア、インド、アメリカで10ポイント以上増加した。
- 一方、「そう思う（計）」の割合が減少したのは、パキスタン、フィリピン、韓国の3カ国。ロシアは4月と同率。

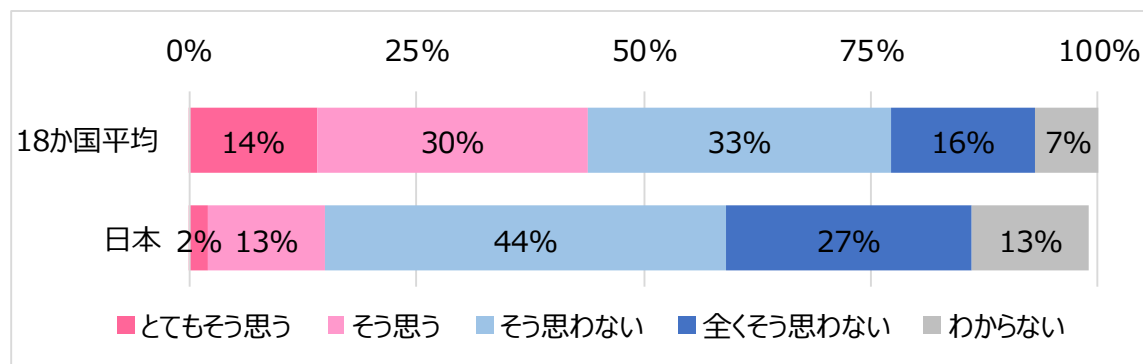
Q コロナウイルスによる脅威は大げさに言われていると思う（単数回答）



「現在、コロナウイルスの世界的な大流行は、抑え込めていると思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合は、18か国*の平均が44%、日本が15%。

- コロナウイルスの世界的な大流行は、抑え込めていると思うかどうかを質問した結果は、日本では、「そう思わない（計）」が71%で多く、「そう思う（計）」の割合は15%。
- 19か国の平均では、「そう思う（計）」の割合が44%、「そう思わない（計）」が49%と、5ポイント差で意見が分かれている。

Q 現在、コロナウイルスの世界的な大流行は、抑え込めていると思う（単数回答）



そう思う (計)	そう思わない (計)	そう思う－ そう思わない 差分
44%	49%	-5%
15%	71%	-56%

* 6月調査新規設問、マレーシアでは非聴取

- 「現在、コロナウイルスの世界的な大流行は、抑え込めていると思う」という意見について、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べると上位3か国は、ジョージア、ブルガリア、カザフスタン。一方、下位3か国は、日本、韓国、香港となっている。
- 日本は18か国中18位で最も低い。

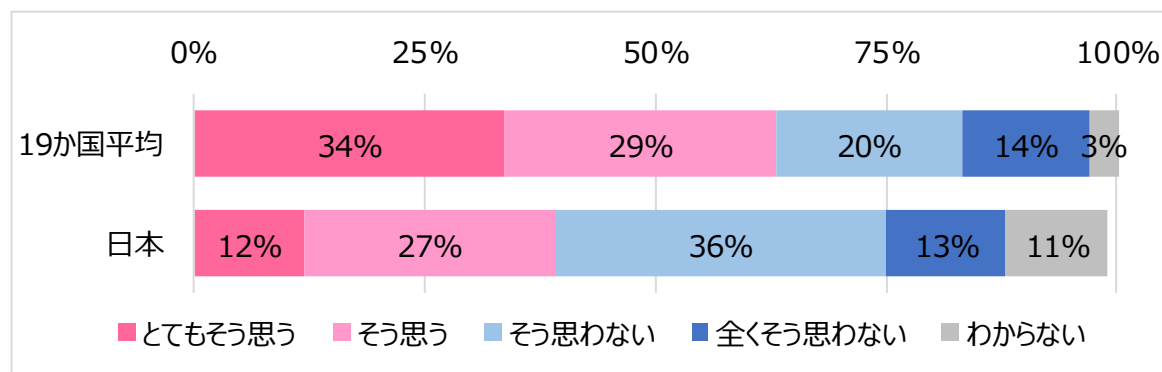
Q 現在、コロナウイルスの世界的な大流行は、抑え込めていると思う（単数回答）

そう思う（計）			そう思わない（計）		
1	ジョージア	95%	1	韓国	78%
2	ブルガリア	72%	2	香港	72%
3	カザフスタン	71%	3	日本	71%
4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	54%	4	インド	68%
5	オーストリア	53%	5	アメリカ	64%
6	モルドバ	52%	6	フィリピン	63%
7	イタリア	49%	6	イギリス	63%
7	パキスタン	49%	8	北マケドニア	57%
18か国平均		44%	9	スイス	53%
9	スイス	41%	18か国平均		49%
10	ロシア	40%	10	ロシア	47%
11	北マケドニア	37%	11	パキスタン	45%
12	フィリピン	33%	12	イタリア	42%
13	インド	28%	13	モルドバ	41%
13	アメリカ	28%	14	オーストリア	38%
15	イギリス	26%	15	ボスニア・ヘルツェゴビナ	35%
16	香港	25%	16	ブルガリア	24%
17	韓国	21%	17	カザフスタン	20%
18	日本	15%	18	ジョージア	4%

「コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減った」かどうかについて、19か国の平均では、「そう思う（計）」が63%、日本では39%。

- コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減ったどうかを質問した結果は、19カ国平均では、「そう思う（計）」と回答した人の割合が63%と、日本（39%）と比較して20ポイント以上多い。
- 日本では、「そう思わない（計）」が49%で、「そう思う（計）」（39%）を上回る。19か国の平均では、「そう思う（計）」が63%で、「そう思わない（計）」（34%）を上回る。
- コロナウイルスの感染拡大による世帯収入への影響は、19カ国平均と比較すると日本の方が少ないものの、日本でも約4割もの人がコロナウイルスの感染拡大による世帯収入への影響を感じている。

Q コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減った（単数回答）



そう思う (計)	そう思わない (計)	そう思う－ そう思わない 差分
63%	34%	29%
✓	△	✓
39%	49%	-10%

* 6月調査新規設問

- コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減ったかどうかについて、「そう思う（計）」の割合の大きい順に並べてみると上位3か国は、インド、フィリピン、パキスタン。一方、下位3か国は、スイス、オーストリア、日本となっている。
- 日本は19か国中17位。

Q コロナウイルスの感染が始まってから、世帯収入が減った（単数回答）

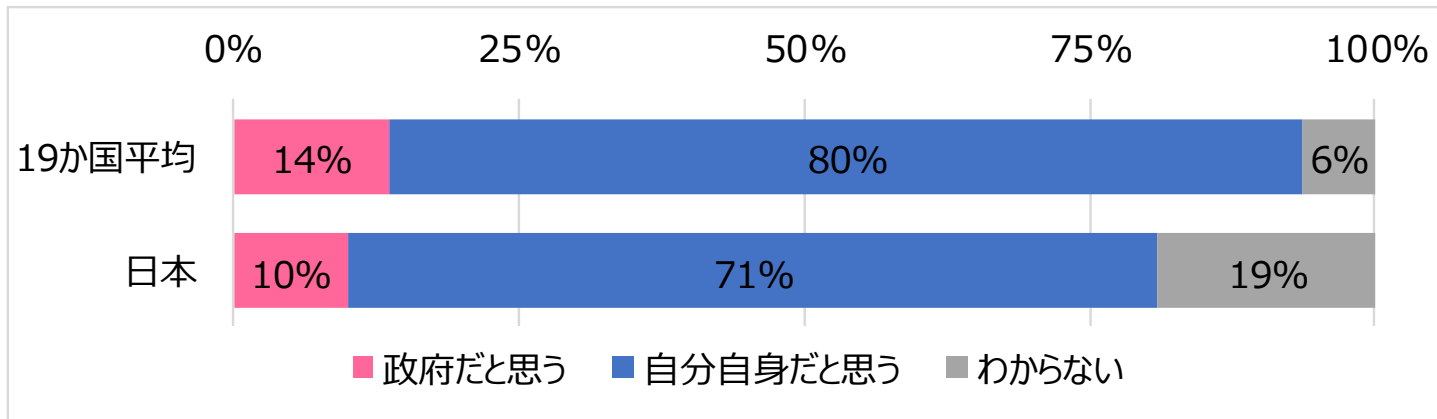
そう思う（計）			そう思わない（計）		
1	インド	89%	1	オーストリア	60%
2	フィリピン	88%	2	スイス	59%
2	パキスタン	88%	3	イギリス	57%
4	カザフスタン	77%	4	日本	49%
4	マレーシア	77%	5	ブルガリア	48%
6	ジョージア	75%	6	アメリカ	46%
7	ボスニア・ヘルツェゴビナ	73%	7	北マケドニア	45%
8	モルドバ	71%	8	香港	38%
9	韓国	69%	19か国平均		34%
10	イタリア	64%	9	イタリア	33%
10	ロシア	64%	10	ロシア	32%
19か国平均		63%	11	韓国	30%
12	香港	59%	12	ジョージア	26%
13	北マケドニア	53%	13	モルドバ	24%
14	ブルガリア	51%	14	マレーシア	23%
15	アメリカ	46%	15	ボスニア・ヘルツェゴビナ	22%
16	イギリス	40%	15	カザフスタン	22%
17	日本	39%	17	パキスタン	11%
18	オーストリア	38%	18	フィリピン	10%
19	スイス	36%	18	インド	10%

* 6月調査新規設問

自分の健康に関する決定に責任があるのは、政府と自分自身のどちらだと思うかについて、19か国の平均も日本も「自分自身」と回答した人の割合が「政府」と回答した人の割合を大きく上回る。

- 自分の健康に関する決定に責任があるのは、政府と自分自身のどちらだと思うかを質問した結果は、日本では「自分自身だと思う」の割合が71%、「政府だと思う」の割合が10%と、「自分自身」と考える人の割合が多い。「わからない」の割合は19%。
- 19か国の平均では、「自分自身だと思う」の割合が80%、「政府だと思う」の割合が14%と、日本同様、「自分自身」と考える人の割合が多い。
- 「自分自身だと思う」の割合は、19か国の平均（80%）が日本（71%）よりも9ポイント多い。また、「わからない」の割合は、日本（19%）が19か国の平均（6%）よりも13ポイント多い。

Q あえて選ぶとすると、あなたの健康に関する決定に責任があるのは、政府と、あなた自身のどちらだと思いますか。（複数回答）



* 6月調査新規設問

- 自分の健康に関する決定に責任があるのは、政府と自分自身のどちらだと思うかについて、「政府だと思う」の割合の大きい順に並べると、上位3か国は、イタリア、パキスタン、マレーシア。一方、下位3か国は、カザフスタン、インド、フィリピン。
- 「自分自身だと思う」の割合の大きい順に並べると、上位3か国は、カザフスタン、インド、フィリピン。下位3か国はイタリア、日本、パキスタン。

Q あえて選ぶとすると、あなたの健康に関する決定に責任があるのは、政府と、あなた自身のどちらだと思いますか。(複数回答)

政府だと思う

1	イタリア	33%
2	パキスタン	24%
3	マレーシア	22%
4	ジョージア	18%
5	北マケドニア	14%
5	アメリカ	14%
19か国平均		14%
7	香港	13%
7	モルドバ	13%
9	イギリス	12%
10	スイス	11%
10	ロシア	11%
12	オーストリア	10%
12	ボスニア・ヘルツェゴビナ	10%
12	ブルガリア	10%
12	日本	10%
12	韓国	10%
17	フィリピン	9%
18	インド	8%
18	カザフスタン	8%

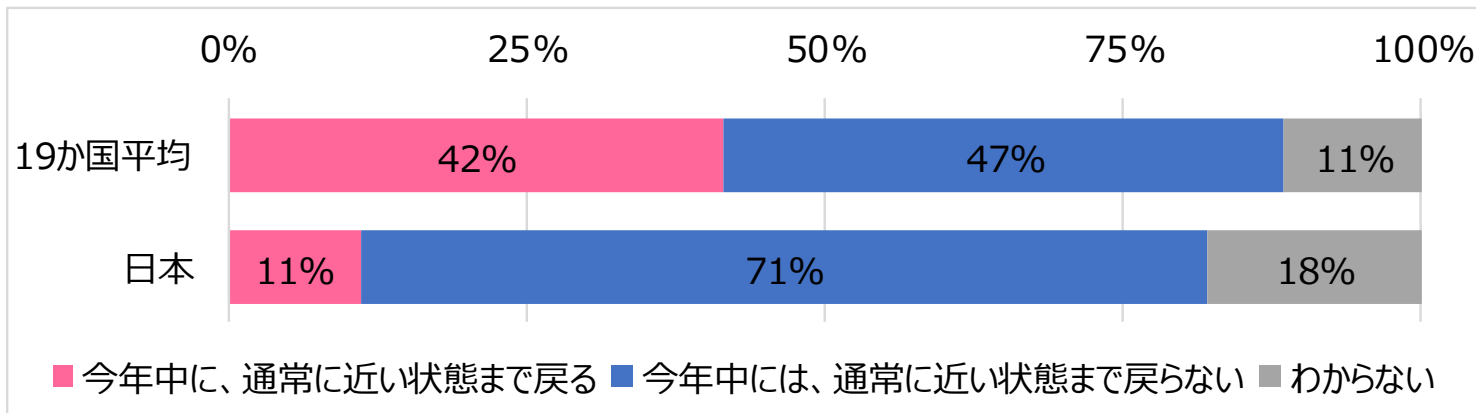
自分自身だと思う

1	カザフスタン	90%
2	インド	89%
3	フィリピン	88%
4	オーストリア	86%
4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	86%
4	韓国	86%
7	ブルガリア	84%
7	北マケドニア	84%
9	スイス	83%
10	イギリス	82%
19か国平均		80%
11	ジョージア	79%
11	モルドバ	79%
11	ロシア	79%
14	マレーシア	77%
15	アメリカ	76%
16	香港	73%
16	パキスタン	73%
18	日本	71%
19	イタリア	56%

自国の生活全般が、今年中に通常に近い状態まで戻ると思うかどうか聞いたところ、日本では、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が71%で多数。19か国の平均では「今年中に、通常に近い状態まで戻る」が42%、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が47%と、意見が分かれる。

- 日本では、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が71%、「今年中に、通常に近い状態まで戻る」が11%。「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」と考える人の割合が60ポイント多い。
- 19か国の平均では、「今年中に、通常に近い状態まで戻る」が42%、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」が47%と、その割合の差は5ポイントで、意見が分かれている。

Q 自国の生活全般は、今年中に、通常に近い状態まで戻ると思いますか。それとも、戻らないと思いますか。（複数回答）



* 6月調査新規設問

- 自国の生活全般が、「今年中には、通常に近い状態まで戻らない」の割合の大きい順に並べてみると、上位3か国は、日本、韓国、イギリス。下位3か国はカザフスタン、パキスタン、ジョージア。
- 日本は19か国中1位で、最も高い。

Q 自国の生活全般は、今年中に、通常に近い状態まで戻ると思いますか。それとも、戻らないと思いませんか。(複数回答)

今年中に、通常に近い状態まで戻る

1	カザフスタン	65%
2	ジョージア	63%
3	ブルガリア	61%
4	マレーシア	60%
5	パキスタン	59%
6	北マケドニア	46%
6	モルドバ	46%
8	フィリピン	45%
9	ボスニア・ヘルツェゴビナ	44%
19か国平均		42%
10	香港	41%
10	インド	41%
12	ロシア	37%
13	スイス	33%
14	オーストリア	32%
15	イタリア	31%
16	アメリカ	28%
17	韓国	26%
18	イギリス	20%
19	日本	11%

今年中には、通常に近い状態まで戻らない

1	日本	71%
2	韓国	69%
3	イギリス	68%
4	オーストリア	61%
4	スイス	61%
6	イタリア	59%
7	アメリカ	57%
8	ロシア	47%
19か国平均		47%
9	北マケドニア	45%
10	ボスニア・ヘルツェゴビナ	44%
11	香港	39%
11	マレーシア	39%
11	フィリピン	39%
14	インド	36%
15	ブルガリア	35%
15	モルドバ	35%
17	ジョージア	32%
18	パキスタン	29%
19	カザフスタン	27%

● 6月調査を実施した19か国／地域の内訳と調査サンプルサイズは、以下の通り。

地域	国・地域	サンプル サイズ	対象	調査実施	調査手法
アジア	日本	1,126	全国 18-69歳	6月9～13日	インターネット
	インド	1,030	全国 18-65歳	6月2～11日	電話
	韓国	1,015	全国 19-69歳	6月8～10日	インターネット
	パキスタン	1,087	全国 18歳以上	6月14～15日	電話
	フィリピン	1,023	全国 18歳以上	6月9～15日	インターネット/電話
	香港	510	全国 18-65歳	6月8～10日	インターネット
	マレーシア	755	全国 18歳以上	6月3～13日	電話
北米	アメリカ	1,192	全国 18歳以上	6月10～11日	インターネット
欧州	イギリス	2,090	全国 18歳以上	6月3～9日	インターネット
	イタリア	1,000	全国 18-47歳	6月2～11日	インターネット
	オーストリア	1,000	全国 16歳以上	6月10～15日	インターネット
	カザフスタン	500	全国 18-65歳	6月5～15日	電話/面接
	北マケドニア	1,203	全国 15歳以上	6月4～14日	電話
	ジョージア	1,003	全国 18歳以上	6月7～12日	電話
	スイス	1,000	全国 16歳以上	6月18～23日	インターネット
	ブルガリア	850	全国 18歳以上	6月2～7日	電話
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1,000	全国 18歳以上	6月7～15日	インターネット/電話
	モルドバ	601	全国 18歳以上	6月4～6日	電話
	ロシア	750	都市部 18歳以上	6月2～7日	インターネット
19か国・地域 合計		18,735	各国の一般個人	6月2～23日	インターネット、 電話、面接

● 日本の属性別調査サンプルサイズは、以下の通り。

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	565
	女性	561
年代別	18～29歳	201
	30～39歳	211
	40～49歳	250
	50～59歳	215
	60～69歳	249
性年代別	男性18～29歳	103
	男性30～39歳	108
	男性40～49歳	125
	男性50～59歳	109
	男性60～69歳	120
	女性18～29歳	98
	女性30～39歳	103
	女性40～49歳	125
	女性50～59歳	106
	女性60～69歳	129

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：(株) 日本リサーチセンター広報室

新型コロナウイルスに関する国際世論調査 担当

メール：information@nrc.co.jp

本リリースの引用・掲載の際は、必ず

「日本リサーチセンター／ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション」

とクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に上記クレジットを掲載してください。